

編集後記

年報『真宗文化』（第三十一号）を無事刊行することができました。ご支援、ご協力くださったみなさま、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

令和三年度も、新型コロナウイルスの感染拡大は収束を迎えることなく、春には第四波が、夏には第五波が到来しました。現在（令和四年三月）もオミクロン株による第六波の真只中です。

そのような中、今年度は、研究所の活動も新しい様式を模索し行いました。聖蹟巡拝は、京都大原の寺院をスタッフのみで巡り、講師の東館紹見先生による解説を撮影し、学内において動画での配信を行うという形を取らせていただきました。東館先生、ご対応ありがとうございました。

研究員による研究発表例会も zoom も用いて行いました。遠方にお住まいの方

や、仕事や子育てなどで多忙な方でも参加しやすいという点で、オンラインでの研究会、講座というもののメリットも実感しております。来年度はオンライン仏教講座を企画実施できればと思っております。

また、聖典読書会は、五月と九月に郵送による通信読書会を開催させていただきました。渡邊先生ありがとうございました。

本号には、今年度の委嘱研究員である英亮氏・梶哲也氏、特別研究員の稲葉維摩氏の論文、特別研究員である藤永伸氏の英語論文を掲載しております。ご覧くだされ、ご意見、ご感想をお聞かせください。

光華女子学園はコロナ禍においても社会に「おもいやりの心」を発信しようとしてきました。物質的には離れていないといけないかもしれませんが、人と人との心のつながりを感じることができ、「光華の心」を具現化できる取り組みを当研究所としても進めていきたいと思っ

ております。催し物の情報は研究所のホームページで発信していきますので、ご確認いただければ幸いです。

令和三年六月末で、真宗文化研究所の（野地事務員が退職いたしました。七月からは谷口事務員を迎え、新たな体制でスタートしております。どうか引き続きご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。（FO）

真宗文化 第三十一号

令和四年三月一日 発行

京都光華女子大学
発行 真宗文化研究所

所長 小澤 千晶

京都市右京区西京極葛野町三八
電話 〇七五（三三）五三八（内）

E-mail skk@mail.kokac.jp

URL <http://www.kokac.jp>

印刷 協和印刷株式会社